阿部割沢

一九八三年一一月三日

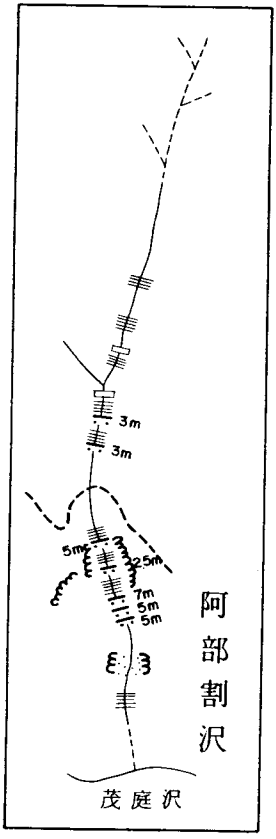
茂庭沢右岸の林道からヤブコギで茂庭沢に下る。丁度砂防ダムの上に出た。一〇分程で阿部割沢出合。水は流れてなく、見逃してしまいそうな出合である。

少し遡るとナメが出てきて、水もチョロチョロなれど流れるようになった。やがて両岸がくずれている所を通りぬける。まもなくF1五㍍、F2五㍍、F3七㍍と続く三つの滝が出てきた。このうちF1・F2は軽くパス。F3は左のクラックぞいに登るが、滑りやすくてかなり緊張した。

上に上がるとナメと小滝があってF4五㍍となり、左を小さく捲く。このあたり両岸の上の方は岩場となっている。

ナメが終わると林道に出た。阿部割沢左岸の開拓地からのびてきている林道である。この先ナメがあり、F5、F6と滝を二つ越えると二俣となった。ここに取水用の堰堤があった。右に入る。

すぐまた取水用の堰堤がある。この先所々にナメが出てくるが、次第に落葉に埋もれた沢となり、水も涸れてくる。水がなくなるまでつめてから一〇分程ヤブをこぐと七一二㍍三角点のあるピークへと出た。

（記・

［タイム］ 阿部割沢出合（一二：三〇）→林道（一三：一〇）→沢終了（一四：〇五）